

**白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略
に係る取組の実施状況について
(平成28年度上半期)**

基本目標 1 住みたい、住んでよかったと感じるまちにする

基本施策 1-1 魅力あるまちの創出

◆ まちの魅力の向上

取組① 白岡中学校周辺区域における土地利用の検討		企画政策課	
1 取組の概要	<p>白岡駅に近いなど、交通利便性に優れ、市の顔として発展する可能性を有する「白岡中学校周辺区域」の土地利用について検討を行うものです。</p> <p>同区域の地権者及びその家族 17 名で構成される「白岡中学校周辺区域の土地利用を考える会」において、土地利用等について検討をいただき、市民の生活利便性の向上に資する施設等の誘致に向けた土地利用の推進を図ります。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>同地区の都市的土地利用を推進し、商業施設、医療・福祉施設や研究施設などを誘致することにより、市民の生活利便性の向上や就業機会の確保を図ることができます。</p> <p>【数値目標】 買物の利便さに対する市民の満足度 43.3%→59.5%</p>		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 白岡中学校周辺区域土地利用検討事業 270 千円 政策調整事業（考える会運営支援業務委託費） 2,160 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 地権者アンケート調査の実施 白岡中学校周辺区域の土地利用を考える会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> 同地区の土地利用方針及び整備手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 関係権利者の調査 地権者協議会の設立 整備方針案の作成

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 白岡中学校周辺区域の土地利用を考える会の開催（3回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本区域の状況と課題、今後の方向性を検討し、まちづくり方針図（案）を確定した。 考える会の活動及びまちづくり方針図（案）の内容を掲載した「まちづくりニュース」を発行し、全地権者へ郵送にて配布した。 	<p>○ 白岡中学校周辺区域の土地利用を考える会において作成した「まちづくり方針図」を参考として、市の第 5 次総合振興計画後期基本計画土地利用構想図の新たな土地利用方針として位置づけることができた。</p> <p>○ 全ての地権者へ「まちづくりニュース」を通じてお知らせすることができ、地権者の機運醸成につながった。</p>

取組② 生涯学習施設の整備と活用		生涯学習課	
1 取組の概要	生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点として重要な役割を果たすことができる「図書館機能を有した生涯学習施設」の整備と整備後の活用を図ります。		
2 取組の成果や目標	<p>図書館機能、資料館機能を融合させることで、相互に情報整理の能力と発信力を補完することが可能となり、来館する市民に利用目的以外の機能に関心を持つきっかけ作りを促します。</p> <p>また、学習機会を求める市民同士が集い、情報提供や情報発信が行われる生涯学習機能を融合させることで、地域を学ぶきっかけや異なる学習ニーズを持つ人たちの交流の場を提供できるような施設となり、地域と人と情報をつなげるまちづくりの核とします。</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設整備事業 549,329千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計の取りまとめ 地質調査及び測量分筆の実施 ふれあいの森公園改修工事設計業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計の取りまとめ ふれあいの森公園改修工事実施 建設工事に着手 管理運営計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設設置条例の制定 家具・備品の発注 プレイベントの実施 ※ 平成30年開館

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設の基本設計を基に実施設計を完了した。 生涯学習施設の本体工事の契約を締結した。 千駄野運動広場のグラウンド機能をふれあいの森公園に移す改修工事を行い、ふれあいの森公園運動広場を整備した。 	<ul style="list-style-type: none"> （仮称）白岡市生涯学習施設の設計業務を完了、本体工事の契約、また、千駄野運動広場のグラウンド機能をふれあいの森公園に移すことで、建設工事の着手に向けた準備を進めることができた。

取組③ 大学及び高校との連携の推進		企画政策課	
1 取組の概要	本市における豊かな地域社会の形成・発展や人材育成の推進を図ることを目的に、専門的な知識や多様な人材を有する大学・高校と連携しながら、市の施策や事業を推進します。		
2 取組の成果や目標	施策の立案や事業の実施に当たって、大学等の専門的な知識・経験・人材を活用することにより、魅力ある、市民ニーズを踏まえた事業展開を図ることができます。また、若い人材に市の事業へ参画してもらうことにより、地域の活性化を図ることができます。 【数値目標】 大学との連携事業数 1事業 → 10事業		
3 取組に係る平成28年度事業	・ふるさと納税事業や魅力創造事業において、大学との連携を図ることとしています。		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 女子栄養大学との包括連携協定の締結 上記大学との連携による特産品開発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 女子栄養大学との連携によるふるさと納税返礼品の開発 上記大学との連携による特産品の開発（継続事業） 映像の専門的知識を有する大学との連携による市PR動画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町の大学や高校の学生の市イベントへの参画 新たな大学との事業連携の検討実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京工科大学 <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションによるプロモーション動画作成 ○ 日本工業大学 <ul style="list-style-type: none"> ・シラオ仮面のデコチャリ作成 ○ 女子栄養大学 <ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発 ○ 上記のほか、埼玉大学、埼玉県立大学、慶応大学SFC研究所とも事業連携について協議・意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門的知見を有する大学機関との連携により、魅力的な事業として事業を効果・効率的に実施することができた。

◆ 自然の維持・保全と美化活動の推進

取組① 市民団体等と連携した地域美化活動の実施		環境課	
1 取組の概要	市内全域において、市民による環境美化を目的とした清掃活動を実施します。		
2 取組の成果や目標	市内の環境美化を図ることができるとともに、市民の意識啓発につながります。また、子供に対しては、環境美化教育となります。 【数値目標】 ごみゼロ・クリーン運動参加者数 10,000 人		
3 取組に係る平成 28 年度事業	・ごみゼロ・クリーン運動実施事業 1,030 千円		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	・5 月 31 日（日）に、市内各行政区において清掃活動を行った。	・市内各行政区において清掃活動を実施する。（5 月 29 日（日）予定）	・市内各行政区において清掃活動を実施する。

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 平成 28 年 5 月 29 日（日）に、市内一斉ごみゼロ・クリーン運動を実施した。 市内の道路、公園、集会所、学校等の周辺に落ちているごみを分別しながら収集した。	○ 参加者数 ・行政区（45 団体） 8,374 人 ・子ども会 1,200 人 合計 9,574 人 ○ 回収されたごみの量 ・可燃ごみ 3,580 kg ・金属類 790 kg ・粗大ごみ 670 kg ・ガラス 420 kg ・草木 3,090 kg ・缶類 60 kg 合計 8,610 kg

◆ 安全な暮らしの確保

取組① 自主防災組織の育成・支援		安心安全課	
1 取組の概要	<p>自主防災組織の設立や防災訓練、資機材購入、防災士資格取得等に対する補助金の交付を行います。</p> <p>年2回、自主防災組織連絡協議会を開催し、市内の自主防災組織を一堂に集めて自主防災組織同士の情報交換を行います。また、年1回、市防災リーダー養成講習会を開催し、防災意識の向上を図ります。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>自主防災組織の活動に対して支援や補助を行い、活発化させることにより、地域住民の防災意識の向上を図ることができます。</p> <p>また、地域社会とのつながり、近隣住民との結びつきが希薄化する現代で、自主防災組織の活動は地域コミュニティの維持・活性化にもつながります。</p> <p>自主防災組織の積極的な活動が、自主防災組織が設立されていない地域にも波及し、新規設立のきっかけともなります。この連鎖により、白岡市は災害に強いまちとなります。</p> <p>【数値目標】 自主防災組織 組織率 79.4% → 85.0%</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<p>・ 自主防災組織育成事業 5,472千円</p>		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<p>・ 自主防災訓練、資機材購入等に対する補助金交付</p> <p>・ 1団体新規設立</p> <p>・ 自主防災組織連絡協議会、市防災リーダー養成講習会開催</p>	<p>・ 自主防災訓練、資機材購入、防災士資格取得等に対する補助金交付</p> <p>・ 自主防災組織連絡協議会、市防災リーダー養成講習会開催</p>	<p>・ 自主防災訓練、資機材購入、防災士資格取得等に対する補助金交付</p> <p>・ 自主防災組織連絡協議会、市防災リーダー養成講習会開催</p>

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 自主防災組織に対する補助金交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練実施補助 5組織 ・ 資機材購入補助 6組織 ・ 防災士資格取得補助 2名 <p>○ 自主防災組織連絡協議会の開催(5/17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自主防災組織が抱えている課題等について意見交換を行った。 	<p>○ 市内の自主防災組織は26組織（平成27年度末時点）であったが、6月に1組織で組織改編が行われ、27組織に増加した。自主防災組織の育成・支援により、活動強化の促進、地域防災力の向上が図られた。</p> <p>【自主防災組織組織率】 79.4%→79.6%</p>

取組② 防犯パトロールの促進		安心安全課	
1 取組の概要	<p>広報紙等による防犯情報の提供や啓発活動を推進し、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>また、防犯用品の配布や防犯マップの作成など、地域の防犯活動を支援することにより、地域住民の防犯パトロール等、自主的な防犯活動の促進を図ります。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>防犯意識の向上により、地域ぐるみの防犯活動が促進されます。</p> <p>また、自主防犯パトロール等の地域防犯活動を支援することにより、地域での防犯活動が強化され、犯罪のない明るいまちを実現することができます。</p> <p>【数値目標】 防犯マップの作成団体数 13 団体 → 21 団体</p>		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<p>・ 防犯推進事業 869 千円</p>		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<p>・ 防犯啓発用品の配布</p> <p>・ 防犯マップの作成支援</p>	<p>・ 防犯啓発用品の配布</p> <p>・ 防犯マップの作成支援</p>	<p>・ 防犯啓発用品の配布</p> <p>・ 防犯マップの作成支援</p>

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災行政無線や安心・安全メールにより、市民に防犯情報（振り込め詐欺等）を提供した。 ○ 交通安全母の会等が実施する行政区等への交通安全啓発活動時に、防犯啓発用のチラシを配付した。 ○ 行政区等に防犯啓発用品（のぼり旗等）を配付し、市内各所に設置した。 ○ 犯罪情報提供の連携を図るため、久喜警察署、行政区長会及び市の三者で「白岡市犯罪情報の住民提供等に関する協定」の締結を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯情報の提供や各種啓発活動の実施により、市民の防犯意識が向上し、自主防犯パトロール等の地域ぐるみの防犯活動が強化された。 <p>【防犯マップ作成団体数】 13 団体</p>

◆ 地域で健康に暮らす環境の充実

取組① はぴすシティプロモーションの推進		健康増進課	
1 取組の概要	<p>健康増進計画に基づき健康づくりに関する啓発を行うことで、はぴす（ハッピー＝幸せ、ヘルス＝健康）のための活動を支援し市民の健康増進を推進します。</p> <p>「はぴすイッチ宣言事業」として健康づくりに関する宣言を募集し、広報紙や白岡まつりにおいて紹介します。宣言者には宣言缶バッジを贈呈し、宣言実行報告書を提出した方の中から年間はぴすイッチ大賞を選定し、市長が表彰します。</p> <p>「なし梨キャンペーン事業」として、毎月健康づくりに関するテーマを決め啓発活動（広報紙やHP、庁内行政モニターでの掲示や、団体協力のもとポスター掲示、イベント等でなし飴の配布）を行います。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>健康に関する情報提供や、団体等と協力した健康づくりへの意識づけのための事業を通じて、若いうちから健康づくりへの関心を高め、市民の健康寿命を延ばします。</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ はぴすイッチ宣言事業 80 千円 ・ なし梨キャンペーン事業 424 千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進課窓口とイベントにて宣言募集 宣言数 129 宣言 ・ 毎月健康に関するテーマについて掲示等での周知や、イベント等でなし飴を配布 1,357 袋 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宣言実行報告書の中から年間はぴすイッチ大賞を選定し白岡まつりにおいて表彰する。宣言募集も引き続き行う。 ・ ポスター掲示、広報紙・HP・広告行政情報モニターへの掲載、なし飴・ガム配布、PRシールやチラシによる周知先を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宣言募集の方法の見直しや検討 ・ はぴすイッチ大賞の選定の見直しや検討 ・ 周知方法や周知先の見直しや検討

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ はぴすイッチ宣言事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康まつり（8月6日）において、はぴすイッチ大賞の表彰式及びはぴすイッチ宣言の募集を実施 ○ なし梨キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりに関するメッセージを毎月、広報しらおか、市ホームページに掲載した。また、記事の掲載及びポスターの掲示範囲を市内公共施設、駅、医療機関等にも拡大した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はぴすイッチ宣言事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ はぴすイッチ大賞、同優秀賞及び同特別賞の表彰により、市民への健康に関する意識向上を図ることができた。 ○ 宣言数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 58 宣言（9月14日現在） ○ なし梨キャンペーン事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月健康づくりに関するメッセージを周知することにより市民の関心が高まった。また、市民からの意見により周知の場も増え、市民の健康に関する意識の向上の機会が広がった。

取組② 市内における初期救急医療体制の充実		健康増進課	
1 取組の概要	<p>休日夜間においても、比較的軽症の救急患者（市民）が医療を受けられるよう、久喜市内にある久喜・白岡休日夜間急患診療所の運営費負担金を支出しています。</p> <p>今後は、市民のより一層の医療環境の充実を図るため、市内医療機関における初期救急医療体制の整備を検討します。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>比較的軽度の救急患者の受診までの時間を短縮することで、身体への負担が軽減されます。また、市内の病院において救急診療を受診できるため、その後の通院において、本人又は家族の負担についても軽減が図れます。</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<p>・ 地域医療体制整備推進事業（負担金） 2,465 千円</p>		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<p>・ 市内における初期救急医療体制の整備のため、市内医師会と協議を実施</p>	<p>・ 市内における初期救急医療体制の整備のため、市内医師会及び業務委託予定先の白岡中央総合病院と協議を実施する。承認後、久喜・白岡休日夜間急患診療所からの脱退を久喜市と協議する。</p>	<p>・ 市内における初期救急医療を業務委託予定先の白岡中央総合病院で開始する。</p>

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 白岡市初期救急医療体制事務打合せ会を開催した。 ○ 第1回久喜・白岡休日夜間急患診療所運営委員会が開催された。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白岡市初期救急医療体制事務打合せ会における協議の結果、平成29年度から市内で受診できる体制整備を図る合意が得られた。現在、実施に向け準備中である。 ○ 久喜・白岡休日夜間急患診療所運営委員会の承諾を得たため、平成29年3月31日をもって久喜・白岡休日夜間急患診療所運営事業からは脱退する予定である。

取組③ 地域包括ケアシステムの構築		高齢介護課	
1 取組の概要	重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・生活支援・介護予防が一体的に提供されるシステムの構築を実現します。		
2 取組の成果や目標	高齢者の尊厳を守りながら、生きがいを持って暮らせる地域を目指します。		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護連携推進事業 805 千円 ・ 認知症総合支援事業 1,684 千円 ・ 生活支援体制整備事業 3,030 千円 ・ 地域ケア会議の実施 153 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 包括的支援事業 ・ 2 市 1 町在宅医療・介護連携推進事業の共同実施に関する協議 ・ 認知症カフェの開催 ・ 生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防・生活支援総合事業 ・ 総合事業への移行準備 ○ 包括的支援事業 ・ 2 市 1 町在宅医療・介護共同事業の協議会・研修会実施 ・ 認知症初期集中支援チームの活動開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合事業へ移行 ・ 包括的支援事業の各項目実施確認

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合事業への移行準備（平成 28 年 11 月から実施する予定） ○ 在宅医療・介護連携推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 市 1 町の連携会議 2 回、研修会 1 回を開催し、延べ 360 人が参加した。 ○ 認知症初期集中支援チームの契約を新しらかが病院と締結した。 ○ 認知症カフェを継続的に運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 か所で月 1 回開催している。 ○ 生活支援体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活支援体制整備協議体（ささえあいミーティング白岡）の会議を 2 回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合事業への移行により、サービスの多様化がなされ、利用者の選択の幅が広がった。 ○ 2 市 1 町の連携会議及び研修会の開催により、顔が見える関係が構築された。 ○ 認知症初期集中支援チームの結成により、認知症かもしれない方の早期発見が可能になった。 ○ 生活支援体制整備協議体により、市内における資源の把握、発掘及び地域のニーズの把握をすることにより、今後の地域での生活支援に生かすことが可能になった。

◆ 利便性の高い住環境

取組① 白岡駅西口地域の整備推進		街づくり課	
1 取組の概要	市の中心市街地であり、市の玄関口である白岡駅西口駅前広場及び都市計画道路白岡駅西口線の事業用地の取得、建物の補償調査を実施します。また、地権者への個別交渉により、物件補償調査や代替地の交渉を進めます。		
2 取組の成果や目標	白岡駅西口駅前広場及び都市計画道路白岡駅西口線を整備することにより、白岡駅の利用者の利便性が向上するとともに、市の顔である白岡駅西口周辺地域の活性化を図ることができます。 【数値目標】 駅前広場 4,960㎡ 都市計画道路 55m（幅員20m）		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の物件補償調査（3件） 6,075千円 ・ 不動産鑑定（2地点） 100千円 ・ 買収済み用地の維持管理工事 2,033千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場及び接続する白岡駅西口線の測量業務 ・ 用地買収、建物の補償調査、土地評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者への個別交渉により、物件補償調査や代替地の交渉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地権者への個別交渉により、物件補償調査や代替地の交渉

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 白岡駅西口線及び駅前広場の用地買収に向けた業務の推進を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 買収済み用地に係る維持管理工事 ・ 物件補償の調査依頼 ・ 用地測量における不調箇所確定 ・ 代替地のあっせん 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度に買収した土地を安全に管理するため、柵を設置するとともに、事業用地である旨の看板を1枚設置した。 ○ 物件補償の調査を3件に依頼した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月に1件の調査を実施し、本年度の下半期に2件の調査を実施する予定である。 ○ 平成27年度に実施した用地測量に係る未確定の境界点1ヶ所について確定させた。 ○ 4名の地権者に代替地の意向調査を行い、1人が検討中（家族と相談）である。

取組② 都市計画道路白岡宮代線の整備推進		道路課	
1 取組の概要	<p>市の玄関口である白岡駅東口から市内東側地域や市役所等の各公共施設への交通アクセスが向上する「都市計画道路白岡宮代線」の整備等について検討を行います。</p> <p>平成 27 年度で事業用地の取得が全て終わったため、平成 27・28 年度の 2 ケ年で実施する詳細設計測量業務において、東北自動車道を跨ぐ高架橋について道路管理者と協議を行い、その構造や架設方法などについて検討し、早期開通に向け事業を進めます。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>当該道路を整備することにより、市内東側地域から白岡駅東口や市役所等の各公共施設への交通アクセスの向上を図ることができます。</p> <p>また、詳細設計測量業務を行うことにより、概算事業費を算出することができるため、早期開通を目指し計画的に事業を進めることができます。</p>		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<p>・ 詳細設計測量業務委託 26,000 千円</p>		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<p>・ 東北自動車道から県道春日部菖蒲線までの区間の用地買収を実施</p> <p>・ 詳細設計測量業務の発注</p>	<p>・ 詳細設計測量業務の実施（継続事業）</p>	<p>・ 東北自動車道及び県道の各道路管理者と協議</p>

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 白岡宮代線詳細設計業務委託を実施した。 （履行期間 H27. 11. 6～H29. 2. 28）</p> <p>○ 白岡宮代線の一部区間（春日部菖蒲線から西側へ約 120m）の仮設道路整備工事に向けた設計作業を進めている。</p>	<p>○ 詳細設計業務を行うことにより、事業費の試算、施工方法の検討を行い、今後の実施スケジュールを策定していくことで円滑な事業の推進を図ることができる。</p>

取組③ 白岡駅東部中央土地区画整理事業の推進		街づくり課					
1 取組の概要	土地区画整理事業の手法により土地の区画形質や公共施設の新設、変更を行い、宅地の利用増進と公共施設の整備、改善を図ります。						
2 取組の成果や目標	<p>本事業により、白岡駅東口周辺地域に定住促進の受け皿となる良好な宅地を整備することができます。</p> <p>また、道路や公園等の公共施設が整備され、白岡駅周辺に利便性の高い魅力ある街並みを創出することができます。</p> <p>【数値目標】</p> <table border="0"> <tr> <td>総事業費</td> <td>96 億円</td> </tr> <tr> <td>総事業費進捗率</td> <td>54.9%→73.5%</td> </tr> </table>			総事業費	96 億円	総事業費進捗率	54.9%→73.5%
総事業費	96 億円						
総事業費進捗率	54.9%→73.5%						
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街路等築造事業 59,500 千円 ・ 物件等補償事業 117,800 千円 						
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内建築物等の物件補償の実施 ・ 街路整備の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 権利者と物件補償調査や移転等に関する交渉を推進 ・ 街路等の整備推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 権利者と物件補償調査や移転等に関する交渉を推進 ・ 街路等の整備推進 				

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 各種工事の発注・調整や物件移転交渉を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街路等築造事業 街路築造工事 1 件 ・ 街路污水管築造工事 3 件 ・ 舗装新設工事 1 件 ・ 敷地造成工事外 3 件 ・ 物件等補償事業 建物・工作物等補償 12 件（地権者 9 名） 	<p>○ 地権者の協力により、各種工事に着手し、物件補償契約を締結した。</p> <p>（各種工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街路等築造事業 街路築造工事 1 件 ・ 街路污水管築造工事 2 件 ・ 舗装新設工事 1 件 ・ 敷地造成工事外 3 件 <p>（物件等補償）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 件契約（うち 3 件完了）

◆ 身近な公園の整備と活用

取組① 市民協働による公園の維持管理		街づくり課	
1 取組の概要	公園の一部に花壇を作り、公園周辺の企業や団体等によって季節に咲く花植えや管理作業を行ってまいります。 また、本取組については、「白岡市地域住民による公園等の管理作業に関する要綱」に沿って進めていきます。		
2 取組の成果や目標	公園内の花壇に花を咲かせ、綺麗な公園を維持することで、公園利用者にまちや公共施設の美化に対する意識を持ってもらうことができます。 【数値目標】 実施団体 3 団体		
3 取組に係る平成 28 年度事業	・管理作業を行う団体等を募集し、市民協働による総合運動公園等の花壇の管理を進めます。		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	・白岡市地域住民による公園等の管理作業に関する要綱の改正 ・管理作業を行う団体等の募集 ・総合運動公園等の花壇の管理作業	・市民協働による総合運動公園の花壇の管理	・市民協働による総合運動公園の花壇の管理

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 市民協働により、新規に花壇を作る公園の選定を行った。 ・駒形公園北側入口花壇に決定	○ 市民団体により、4月に総合運動公園の管理棟前花壇 2 箇所の除草・花植えが実施された。 ・実施団体 1 団体

取組② 白岡市総合運動公園を利用した運動機能の向上を目的としたイベントの開催		街づくり課	
1 取組の概要	総合運動公園を利用し、企業や大学等と連携して講師等を招き、運動機能等の向上につながる取組や多世代が参加できるイベントを開催します。		
2 取組の成果や目標	総合運動公園の有効利用と利用率の向上を図ることができます。また、運動を行うことで参加者の運動機能の向上にも寄与することができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	・企業や大学との協働によるイベントの企画・検討を行います。		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	—	・運動機能向上のためのイベントの検討	・講師として依頼する企業や大学等の選定・依頼 ・イベント参加者の募集 ・運動機能向上のイベントの実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ イベントの実施に向けた検討を行っている。	○ 未実施のため、上半期の成果はなし。

◆ 利用しやすい公共交通サービスの充実

取組① 地域公共交通サービスの充実		地域振興課	
1 取組の概要	利用者のニーズに対応した公共交通サービス（のりあい交通）を提供することにより、市民の移動手段を確保し、交通不便地域の解消や市民の外出の促進を図ります。		
2 取組の成果や目標	<p>民間路線バスの撤退や町内循環バスの廃止により、市の東部に存在していた公共交通の空白地域が解消されました。</p> <p>また、路線バスやタクシーと適切な役割分担を果たしながら運行することで、市民にとって利便性の高い公共交通ネットワークを形成することができます。</p> <p>【数値目標】 のりあい交通の一日当たりの平均利用者数 30.5人⇒35人（平成28年度末）</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通サービス構築事業 18,816千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ のりあい交通の運行	・ のりあい交通の運行	・ のりあい交通の運行

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 啓発品を作成、配布することにより、事業の周知及び利用促進を図った。	<p>○ のりあい交通の運行状況（平成28年4～8月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ利用者数 3,924人 ・ 運行日数 125日 ・ 一日当たり平均利用者数 31.4人

基本目標2 子供を産み育てる人の願いをかなえる

基本施策2-1 出産・子育て等に対する支援

◆ 子育て家庭への支援

取組① 不妊治療費への助成		健康増進課	
1 取組の概要	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図るものです。		
2 取組の成果や目標	<p>不妊治療は保険適用外の検査や治療による経済的及び心身への負担がありますが、治療費の助成は妊娠・出産を望む夫婦への支援の一つとなり、健やかな妊娠・出産につながります。</p> <p>不妊治療に関する事業に併せて、妊娠・出産に対する正しい知識の啓発を行うことで、適切な妊娠・出産のライフプランを考えられる人が増加します。</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊治療費助成事業 4,004 千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望する方が適切に治療を受けられるよう制度の周知（保健所における案内、HPや広報紙等による）を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式等を利用して若い頃から妊娠・出産に関する正しい知識を持てるよう支援する。必要に応じて専門の相談機関を利用できるよう情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産に関する正しい知識の啓発と、必要に応じた専門相談機関の情報提供を継続する。

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 不妊治療を受けた夫婦に対し、不妊治療費の一部を助成した。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 申請件数 19件（9月20日現在） ○ 助成額 1,727,950円

取組② 新生児誕生をお祝いする記念品の贈呈		農政課	
1 取組の概要	新生児が誕生した世帯に、お祝いとして市内産の特別栽培米を贈呈するものです。		
2 取組の成果や目標	子育て世帯の経済的負担の軽減が図られるとともに、市民の市内産農作物に対する関心を高めることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 新生児誕生お祝い事業 4,574 千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 新生児が誕生した世帯に対して特別栽培米を贈呈することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減及び市民の市内産農作物に対する関心を高めることができた。 申出件数 361 件 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新生児が誕生した世帯に対して特別栽培米を贈呈する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新生児が誕生した世帯に対して特別栽培米を贈呈する。

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> 対象者からの申出に基づき、新生児1名あたり、市内産特別栽培米30kg分の引換券を交付した。 	<ul style="list-style-type: none"> 申請件数 226件、特別栽培米の引き換え量約5.3t（9月末現在） 前年度同時期と比べ、66件の増加となった。 子育て世帯の経済的負担の軽減、また市内産農作物に関心を持ってもらうことができ、地産地消と農業振興が推進された。

取組③ ベビーベッドの貸出		子育て支援課	
1 取組の概要	乳児（0歳児）を養育している方に、6か月間無料でベビーベッドの貸し出しを行う。（1歳の誕生日の前日まで延長可能） レンタル業者と委託契約し、ベッドの配達・回収を行います。		
2 取組の成果や目標	乳児の健やかな成長の支援、また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ベビーベッド貸出事業 1,323千円		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児（0歳児）を養育している方に、6か月間無料でベビーベッドの貸出 ○新規 148件 ○延長 71件 ○取り下げ 3件 	・継続してベビーベッドを貸出	・継続してベビーベッドを貸出

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児を養育している方に、ベビーベッドの貸し出しを行った。 ・ベッドのレンタル、配達及び回収は、レンタル業者との委託契約により行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳児の健やかな成長の支援と、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。 ○ 平成28年度実申請件数（9月28日現在） <ul style="list-style-type: none"> ・新規96件、延長46件、取り下げ1件

取組④ こども医療費の拡充の検討		子育て支援課	
1 取組の概要	平成 29 年 1 月診療分から支給対象年齢を、入院、通院とも 18 歳到達時の年度末までに拡大します。		
2 取組の成果や目標	更なる子どもの保健の向上と子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができます。		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> こども医療費支給事業 187,653 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 入院、通院とも中学校修了までの医療費を支給 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 1 月診療分から、18 歳到達時の年度末までに支給対象を拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 18 歳までの支給を継続

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 15 歳までこどもの医療費の一部について、助成を行った。 ○ 助成対象年齢の拡大について医師会・歯科医師会・薬剤師会に周知するなどの準備を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ こどもの保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

取組⑤ 多子世帯に対する保育料の軽減		子育て支援課	
1 取組の概要	多子世帯における経済的負担の軽減を図り、少子化の改善を図ることを目的として、保育所等に入所する第3子以降（ただし、第3子以降が0歳児から2歳児までに限る）の小学校就学前の子どもに係る利用者負担額を免除します。		
2 取組の成果や目標	多子世帯における経済的負担の軽減を図ることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ 多子世帯保育料軽減事業 8,527千円		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ 多子世帯保育料軽減事業実施要綱を作成し、多子世帯の保育料の免除を実施	・ 多子世帯の保育料免除を実施	・ 多子世帯の保育料免除を実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 保育所、認定こども園、小規模保育事業を利用している0歳児から2歳児までの子どもを持つ保護者に多子世帯保育料軽減事業について周知した。</p> <p>* 保育料の免除は、対象児童の保護者からの申請による。</p>	<p>○ 多子世帯保育料軽減事業保育料免除決定通知件数 257件</p>

◆ 子育て環境の整備

取組① 子育て世代包括支援センターの設置の検討		子育て支援課 健康増進課	
1 取組の概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して切れ目のない総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備を図るものです。		
2 取組の成果や目標	切れ目のない子育て支援により、子育てに対する不安・負担の軽減を図り、児童虐待の防止につながります。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ 子育て支援包括支援センターの設置に向けた情報収集		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ 研修会などで情報収集	・ 研修会などで情報収集	・ 子育て世代包括支援センターを母子保健型、基本型のどちらで実施するか検討

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康増進課と子育て支援課で今後の方針を話し合い、平成31年度の子育て世代包括支援センターの開所に向けて意思統一を行った。 ○ 他市町村の取組状況の情報収集を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度中に先進自治体を視察する計画を立案した。 ○ 東部ブロック福祉連絡協議会の先進地視察に参加する。

取組② 町ぐるみん白岡の活動の推進		生涯学習課	
1 取組の概要	子ども達の健全な成長の支援や地域の教育・子育て関係団体の連絡調整役となつて活動の活性化を支援するとともに、子育て中の親へ学習機会を提供しながら、家庭、地域、学校などとの関係を円滑に図る活動です。		
2 取組の成果や目標	<p>「町ぐるみん白岡」は、文部科学省の家庭教育支援チームに登録し、家庭・地域・学校の連携を進める「懸け橋」となり、子育て活動団体同士の接着剤・潤滑油となることを目指します。</p> <p>昨年度は、乳幼児向けコンサートである「みんなあつまれ！わいわいコンサート」を新規に実施し、徐々に市民の間に浸透しつつあります。</p>		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「町ぐるみん白岡」補助金 270 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなあつまれ！！わいわいコンサート♪の実施 ・市内お囃子等実施団体代表者意見交換会の開催 ・わんぱく笑（商）店街参加 ・ひこべえの森冬のつどいの実施 ・スポーツふれあい広場の開催 ・学校応援団交流会の開催 ・我が家の約束チェックシート配布・回収 ・「町ぐるみん白岡」だより発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなあつまれ！！わいわいコンサート♪の実施 ・市内お囃子等実施団体代表者意見交換会の開催 ・わんぱく笑（商）店街参加 ・ひこべえの森冬のつどいの実施 ・スポーツふれあい広場の開催 ・学校応援団交流会の開催 ・我が家の約束チェックシート配布・回収 ・「町ぐるみん白岡」だより発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなあつまれ！！わいわいコンサート♪の実施 ・市内お囃子等実施団体代表者意見交換会の開催 ・わんぱく笑（商）店街参加 ・ひこべえの森冬のつどいの実施 ・スポーツふれあい広場の開催 ・学校応援団交流会の開催 ・我が家の約束チェックシート配布・回収 ・「町ぐるみん白岡」だより発行

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳幼児向けコンサート「みんなあつまれ！！わいわいコンサート♪」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月25日（日）開催 ○ 「お囃子の集い」の開催（新規事業） <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月10日（月・祝）スポーツ少年団「親子レクリエーション大会」に合わせて開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの開催により、子ども達の健全な成長の支援や地域の教育・子育て関係団体の活動の活性化を支援することができた。

取組③ 保育所の完全給食の実施		子育て支援課	
1 取組の概要	市内公立保育所を利用する3歳児以上については、従来は、保護者が主食を持参していましたが、平成28年4月から市による主食の提供を開始したものです。		
2 取組の成果や目標	平成28年4月から市内公立保育所において完全給食を実施しました。		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 給食食材費（主食・副食代を含む） 17,653千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 完全給食の実施に向けて整備を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日から公立保育所を利用する3歳児以上にも主食の提供を実施（月額1,000円実費徴収） 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な事業実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成28年4月から保育所における主食の提供を実施した。（月額1,000円実費徴収） * 市内公立保育所を利用する3歳児以上は、これまで保護者が主食を持参していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所が主食を提供することにより、保護者の負担を軽減、また食の安全についてよりよい環境の提供ができた。

取組④ ブックスタートの実施検討		生涯学習課	
1 取組の概要	赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあうひとときを持つきっかけをつくるため、保健センターで実施する0歳児検診において、絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡しするものです。		
2 取組の成果や目標	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの時から本を身近に感じることで、本に親しみ、読書を楽しむ環境づくりを推進します。 ・絵本を手渡すのと同時に、絵本の読み聞かせ体験や市の子育てサービスに関する情報提供や子育て相談を行うことで、同じ年代の子どもを持つ親子が交流するきっかけづくりや子育ての不安、負担の軽減を図り、地域で子育てを支援する環境づくりを推進します。 ・事業の実施にあたって協力が必要な他課との連携を強化し、市民ボランティアとの協働を推進します。 ・ブックスタートをきっかけに、親子を図書館利用につなげ、利用者の拡大を図ります。 		
3 取組に係る平成28年度事業	・ブックスタートの実施に向けた情報収集及び実施方法の検討を行います。		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	—	・実施に向けた情報収集及び実施方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・実施要項の作成 ・協力ボランティアの育成、学習会の開催 ・ブックリストの作成

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 県内市町のブックトークの実施状況などを調査し、情報収集に取り組んだ。	○ ブックトークの実施状況を調査した結果、県内39市町でブックトークを実施していることが分かった。今後は、実施方法等について引き続き調査を行う。

◆ 教育環境の充実

取組① 学校応援団の運営支援		教育指導課	
1 取組の概要	地域の協力を得て市内の全小・中学校に設置されている学校応援団の活用により、市内各小・中学校の学習活動、安心安全の確保、環境整備等について、地域による組織的支援の充実を図るものです。		
2 取組の成果や目標	地域による組織的な支援活動の充実により、市の将来を担う子どもたちが豊かな人間性を育むための学校、家庭、地域が連携した教育活動の推進を図ることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 学校応援団推進事業 381千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・学校応援団の運営支援	・学校応援団の運営支援	・学校応援団の運営支援

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校応援団の活用により、学習活動、安心安全の確保、環境整備等について、次のような組織的支援が実施された。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時見守りによる、安心安全の確保 ・学校内の除草や落ち葉掃き、樹木の剪定など、児童生徒の学習環境の整備 ・ミシンや習字など、教員一人では目の届かない児童生徒の活動におけるきめ細かい支援の実施 ・総合的な学習の時間や生活科の学習において、昔遊び、お囃子などの地域の伝統文化を継承する活動の支援 ・梨の花粉つけや摘果、田植え、収穫など児童生徒の体験的な学習の充実 ・本の読み聞かせによる、児童生徒が本に親しむ時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内小中学校で1,000人以上の地域の方々が「学校応援団」として登録し、地域による組織的な支援活動の充実を図ることができた。 ○ 地域の方が児童生徒を見守ることにより、安全が確保されるとともに、地域の方と児童生徒との交流が促進された。 ○ 学校応援団のきめ細かい支援により、児童生徒一人一人が自分の作品を完成させたり、技術の向上が図られるなど、子どもたちに、専門的な知識や技能を身に付けさせることができた。また、学校、家庭、地域が連携した教育活動を推進することができた。

取組② 教育支援センターにおける児童等の支援		教育指導課	
1 取組の概要	<p>不登校児童・生徒等への支援体制の充実を図るため、教育支援センターの支援体制を整備します。</p> <p>また、不登校などの悩みを抱えた児童・生徒と保護者について、その児童生徒を取り巻く環境への働きかけ、また、関係機関との連携を図るため、教育支援センターにスクールソーシャルワーカーを配置します。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>不登校児童・生徒等の社会的自立に必要な適応力の習得を図ることにより、早期の学校復帰を図ることができます。</p> <p>家庭、学校及び関係機関が協働し、多様な支援方法を用いて、児童生徒が抱える課題の解決に向けた対応を図ることができる。</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援センター運営事業 8,632千円 ・スクールソーシャルワーカー配置事業 1,782千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・教育支援センターにおける児童生徒の支援	・教育支援センターにおける児童・生徒の支援 ・スクールソーシャルワーカー配置による支援	・教育支援センターにおける児童・生徒の支援 ・スクールソーシャルワーカー配置による支援

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ センターに通う生徒一人一人の特性や体調に留意しながら、生活リズムを整えることや学校行事への参加、進路選択の意識を高めることなど、登校に向けた支援を実施した。 ○ 市内各校や保護者からの依頼を受け、専門的見地から、児童生徒・保護者との教育相談を実施した。 ○ スクールソーシャルワーカーを配置し、学校からの要請を受け、主に保護者と学校そして関係機関との連携を図る役割を果たした。 ○ スクールソーシャルワーカーが講師となり、夏季休業中に教員を対象とした研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ センターに通う生徒が、運動会や修学旅行などの学校行事へ参加するなど、早期の学校復帰に向けた適切な支援を図ることができた。 ○ 保護者や学校からの依頼を受け、上半期は36件の相談に応じ、客観的な知能検査を活用するなど、より専門的なアドバイスを実施することができた。 ○ 上半期、スクールソーシャルワーカーは21件の事案に関わり、教員だけでは対応することが難しい、児童生徒を取り巻く環境への働きかけや、保護者と関係機関との連携を図る役割を果たすことができた。

取組③ 小・中学校施設の整備・改修		教育総務課											
1 取組の概要	<p>小・中学校における校舎等の老朽化の進行に対応するため、「予防保全型」の考え方を取り入れて計画した「学校施設大規模改修計画」にそって、改修工事を計画的に実施します。</p> <p>また、校舎・屋内運動場等の老朽化に起因する内装、外装、トイレをはじめとする設備等を整備し、快適な教育環境の整備を図ります。</p>												
2 取組の成果や目標	<p>校舎等の老朽化の進行に対応するため、改修工事やトイレをはじめとする設備等を整備することにより、安全で安心して学ぶことができる学校施設を確保し、教育環境の充実を図ることができます。</p> <p>また、改修工事や設備等の整備を計画的に実施することにより、予算の平準化を図ることができます。</p>												
3 取組に係る平成28年度事業	<table border="0"> <tr> <td>・ 菁莪小学校校舎等改修事業</td> <td>113,074 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 小・中学校トイレ改修事業</td> <td>13,560 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 太陽光発電エネルギー等導入事業</td> <td>28,050 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 小・中学校屋内体育施設非構造部材耐震化事業</td> <td>48,719 千円</td> </tr> <tr> <td>・ 大山小学校校舎等改修事業（電気設備交換）</td> <td>15,876 千円</td> </tr> </table>			・ 菁莪小学校校舎等改修事業	113,074 千円	・ 小・中学校トイレ改修事業	13,560 千円	・ 太陽光発電エネルギー等導入事業	28,050 千円	・ 小・中学校屋内体育施設非構造部材耐震化事業	48,719 千円	・ 大山小学校校舎等改修事業（電気設備交換）	15,876 千円
・ 菁莪小学校校舎等改修事業	113,074 千円												
・ 小・中学校トイレ改修事業	13,560 千円												
・ 太陽光発電エネルギー等導入事業	28,050 千円												
・ 小・中学校屋内体育施設非構造部材耐震化事業	48,719 千円												
・ 大山小学校校舎等改修事業（電気設備交換）	15,876 千円												
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度										
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電エネルギー等導入事業（南小） ・ 小学校トイレ改修事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎等改修事業（菁莪小） ・ 太陽光発電エネルギー等導入事業（西小） ・ 小・中学校トイレ改修事業 ・ 小・中学校屋内体育施設非構造部材耐震化事業 ・ 電気設備更新工事（大山小） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎等改修事業（南小） ・ 校庭改修事業（西小） ・ 中学校トイレ改修事業 										

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 菁莪小学校南校舎の外壁改修、校舎内の内装の改修及びトイレ改修等を実施 ○ 小・中学校トイレ改修事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校（5校）、中学校（1校）において、31箇所の便器を洋式化した。 ○ 西小学校太陽光発電設備及び蓄電池設置事業の設計業務を委託 ○ 大山小学校の老朽化した受変電設備更新工事を実施 ○ 市内全小・中学校の屋内体育施設の非構造部材（照明器具、バスケットゴール）の耐震化工事（落下防止対策工事）を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校舎・設備の老朽化対策工事及び落下防止対策工事を実施し、安全で安心して学ぶことができる環境を整えることができた。 ○ トイレの洋式化工事により、トイレの洋式化率は小・中学校合計で45%になった。

基本目標3 職住近接によるゆとりある生活を実現する

基本施策3-1 産業の育成・支援

◆ 産業の育成支援

取組① 特産品の開発		商工観光課	
1 取組の概要	市の新たな特産品の開発や販路開拓、広報宣伝等を行います。 そのため、市内の商工・観光関係者、公募による一般市民などで組織する検討委員会を設置して幅広い意見を取り入れながら、包括連携協定を締結した女子栄養大学などと産官学の連携により、特産品開発等の推進を図ります。		
2 取組の成果や目標	特産品の開発を通じて、白岡市の魅力を市内外に発信するとともに、商工業の振興、消費者の購買意欲の拡大及び地域の活性化を推進します。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ 特産品開発事業		2,346千円
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ 女子栄養大学と包括連携協定を締結し、同大学教授による「売れる商品づくり」の講演会を実施した。	・ 「白岡市特産品開発検討委員会」を設置し、新たな特産品の開発について検討を行う。	・ 引き続き、「白岡市特産品開発検討委員会」において、新たな特産品の決定や販路開拓、広報宣伝等に取り組む。

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内商工・観光関係者、公募市民及び市職員で構成する「白岡市特産品開発検討委員会」を設置した。 ○ 女子栄養大学フードマーケティング研究室の高城孝助教授をコーディネーターとして招き、「白岡市特産品開発検討委員会会議において、選定食材や販売方法等について検討を行った。（3回開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員の方から特産品に使用する食材及び販売形態（飲食店メニュー、加工品など）の意見をいただき、それぞれの候補を選定した。 ・ 選定食材11品（米、トマト、梨、長ネギ、金ゴマ、梨花、バラ、お茶、茶葉、あんこ、米粉） ・ 販売形態10品（梨花ティー、ふりかけ、お茶漬け、ジュレ、カット野菜、米粉パン、ベーグル、めん、野菜たっぷりドレッシング、梨ジュース・サイダー） <p>※今後、女子栄養大学の学生にレシピ・試作品を提案していただき、検討委員会の中で選定していく予定</p>

取組② 6次産業化の推進		農政課	
1 取組の概要	白岡市新しい食品開発研究会において、6次産業化を通じて本市の農産物を活用した新商品の研究開発及び販路拡大を進めていくものです。		
2 取組の成果や目標	本事業の実施により、魅力ある農業の振興を図り、農業後継者の育成・確保や新たな担い手の育成を図ることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化推進事業 2000千円 		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> 白岡市の農産物を使用した加工品を試作した。 埼玉県農商工連携フェアに出展して上記の加工品を試食提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> 試作加工品を絞り込み商品化に向け、味の改良、パッケージ、商標登録等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の農作物を使用した新商品として販売

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○8月上旬 ・しらおか祭りにライスコロッケを出展し、300個完売 ○9月下旬 11月20日ドリームフェスタに向けた試作品の研究	○ しらおか祭りにおいてライスコロッケについてアンケートを実施したところ、味が薄い、油っぽい、冷たい、値段が高い、硬いなど、厳しい御意見をいただいた。更なる改良と新たな加工品研究の必要性を確認することができた。

取組③ 企業連携の推進		企画政策課	
1 取組の概要	市の行政課題に応じて、分野ごとのノウハウや人材を有する民間企業との事業連携を進め、市だけでは解決困難な地域課題に対応するものです。		
2 取組の成果や目標	企業が有する資源、ネットワーク、ノウハウ、人材等を活用し、効果的な地域課題の解決を図ります。 また、市は、企業との連携・協力を市内外に積極的にPRし、企業の社会貢献活動やイメージアップに協力します。		
3 取組に係る平成28年度事業	・まち・ひと・しごと創生有識者会議への企業の方の参画や魅力創造事業における企業との連携を進めます。		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生有識者会議への市内企業からの参画 ・企業との連携・協力により進める事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・ひと・しごと創生有識者会議への市内企業からの参画 ・企業との連携協力によるシティプロモーション事業の実施 ・企業との連携・協力により進める事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携・協力により進める事業の検討・実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢介護課にて、H28年7月にウェルシアと企業 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協定を締結、9月の敬老会でお祝い品等の提供 ○ 白岡まつりの花火協賛金 <ul style="list-style-type: none"> ・まつりのフィナーレを飾る花火打ち上げに対する、市内企業の協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業側、行政側それぞれの強みを生かした事業連携を展開することにより、より魅力的な事業運営を図ることができた。

基本施策3-2 多様な就業環境の充実

◆ 新たな土地利用による産業基盤の整備

取組① 産業系土地利用の検討		企画政策課	
1 取組の概要	圏央道の埼玉県内全線開通による高い交通利便性を活かし、インターチェンジ周辺や幹線道路の沿道における新たな土地利用の検討を行います。		
2 取組の成果や目標	産業基盤の整備を進めることで若者や女性たちの雇用の場を創出し、それに伴う相乗効果として市内への定住化率の増加などに寄与することができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ 政策調整事業（経済波及効果分析調査業務委託）		2,150千円
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな土地利用の検討 ・ 窓口での開発相談対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済波及効果分析調査の実施 ・ 第5次白岡市総合振興計画後期基本計画（土地利用基本構想）の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用転換の可能性のある対象地を調査し、新たな産業基盤の整備を検討する ・ 埼玉県との事前相談（土地利用転換の可能性を探る）

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画政策課や街づくり課において、開発希望者や開発事業者からの相談等に対応した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月～9月までの相談件数 3件 ○ 総合振興計画土地利用基本構想への産業系土地利用の位置づけについて検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進出希望企業等のニーズを把握することができ、今後、土地利用転換を進める根拠とすることができた。引き続き企業ニーズの把握に努める。

取組② 企業誘致の推進		商工観光課									
1 取組の概要	白岡西部産業団地に事務所を新設する企業に対して、白岡市白岡西部産業団地企業誘致推進条例に基づき、固定資産税相当額奨励金、給水加入金奨励金、雇用促進奨励金、省エネルギー設備設置奨励金を交付します。										
2 取組の成果や目標	<p>立地企業に対して奨励措置を行うことにより、市の産業の振興及び雇用機会の拡大を図ります。</p> <p>【数値目標】</p> <table border="0"> <tr> <td>固定資産税奨励金</td> <td>2 社</td> </tr> <tr> <td>給水加入金奨励金</td> <td>1 社</td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>1 社</td> </tr> <tr> <td>省エネルギー設備設置奨励金</td> <td>1 社</td> </tr> </table>			固定資産税奨励金	2 社	給水加入金奨励金	1 社	雇用促進奨励金	1 社	省エネルギー設備設置奨励金	1 社
固定資産税奨励金	2 社										
給水加入金奨励金	1 社										
雇用促進奨励金	1 社										
省エネルギー設備設置奨励金	1 社										
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 白岡西部産業団地企業誘致推進奨励事業 79,320 千円 										
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度								
	<ul style="list-style-type: none"> 白岡西部産業団地に事務所を新設する企業に対し、各奨励金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> 立地企業に対して奨励措置を行うことにより、市の産業の振興及び雇用機会の拡大を図る。 平成 28 年度に創業を予定している事業所に対し、奨励金の説明や雇用関係に関する情報収集を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、立地企業に対して奨励措置を行うことにより、市の産業の振興及び雇用機会の拡大を図る。 								

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> 白岡西部産業団地の立地企業 5 社のうち、事業が開始されていない残りの 1 社に対し、今後の事業開始までのスケジュールを確認するとともに、奨励金の申請に関する手続き方法などについて説明を行った。 事業規模の拡大や事業開始に伴う新規雇用の有無を確認し、ハローワークとの合同による就職面接会の案内等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 下半期に固定資産税相当額奨励金（2 社）、給水加入金奨励金（1 社）、雇用促進奨励金（1 社）を交付予定

◆ 市民の就業支援

取組① 関係機関等と連携した就業支援の実施		商工観光課	
1 取組の概要	良好な就労環境で働くことができるよう、公共職業安定所（ハローワーク）等の求人情報、パート、派遣労働などに関する情報の収集、提供を行います。また、多様化する雇用形態や、労働実態の把握を進めます。		
2 取組の成果や目標	ハローワーク等の関係機関と連携し、合同就職面接会や企業見学等を実施して、市民の就業支援を図ります。		
3 取組に係る平成 28 年度事業	・ しごと応援事業 254 千円		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	・ ハローワーク春日部と合同で就職面接会を実施し、白岡地域を中心とした企業への就業支援を実施した。	・ 企業見学や、ハローワーク春日部と合同で就職面接会を実施し、白岡地域を中心とした企業への就業支援を実施する。	・ 引き続き、企業見学と、就職面接会を実施し、白岡地域を中心とした企業への就業支援を実施する。

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度実施する合同就職面接会について、ハローワークと協議を実施し、開催日を 11 月 8 日に決定するとともに、市内企業を訪問し、面接会への参加を依頼した。 ○ 合同就職面接会への求職者の参加を促すため、ハローワークにおいて募集を行うとともに、広報しらおか 10 月号への募集記事の掲載、公共施設等へのポスターの掲示を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合同就職面接会における参加企業数及び求職者の参加者数については、11 月頃に決定 ○ 合同就職面接会を契機として就業された方の人数についても、下半期にハローワークから報告を受ける予定

基本目標 4 市民満足度の向上を図り地域への愛着を深める

基本施策 4-1 市の魅力の発信

◆ シティプロモーションの推進

取組① マスコットキャラクターを活用したプロモーションの検討		企画政策課	
1 取組の概要	白岡市シティプロモーション戦略に基づき、市の知名度と市民満足度の向上を図るため、市のマスコットキャラクター「シラオ仮面」を活用した効果的な魅力発信を行います。		
2 取組の成果や目標	市のマスコットキャラクター「シラオ仮面」を活用した各種事業を通じて、効果的な魅力の発信を行い、市の知名度の向上を図ることができます。		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> 魅力創造事業 4,071 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> マスコットキャラクターの決定 	<ul style="list-style-type: none"> 各種PR方法の検討、実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各種PR方法の検討、実施

《平成 28 年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> 市内外のイベント等でシラオ仮面の PR 活動を行う為、公募した若手職員 16 名で構成される team シラオ仮面を組織した。 team シラオ仮面により、シラオ仮面が市内外のイベントに参加し、市のPRを行った。 市の魅力発信のため、10月1日から運用を開始した市公式ツイッターのキャラクターとしてシラオ仮面を使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> シラオ仮面が各種イベントに参加し、市民等とふれあうことで、シラオ仮面を通じた白岡市の知名度の向上を図ることができた。 市公式ツイッターにより防犯情報等の発信を行った事で、市民等への迅速な情報発信を行うことができた。 9月の試験運用の1か月で、300件以上のフォロワーを獲得した。

取組② ふるさと納税の有効活用		企画政策課	
1 取組の概要	<p>ふるさと納税ポータルサイトや各種広報媒体を活用し、市の魅力や政策を積極的にPRし、より多くの方に白岡市のまちづくりを応援してもらうものです。</p> <p>特産品の開発や掘り起こしを行い、返礼品のラインナップを充実させ、地域産業の新たな販路の開拓と市の知名度の向上に努めます。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>寄附に対する返礼品として市の特産品等を活用することで、地元農業や地域産業の活性化と市の知名度の向上を図ることができます。</p> <p>【数値目標】</p> <p>ふるさと納税寄付件数等（H28年度） 4,300件 53,000,000円</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<p>・ふるさと納税事業 33,865千円</p>		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	<p>・ふるさと納税制度の運用をリニューアルし、寄附金の使途や寄附に対する返礼品を寄附者が選択できるようにした。また、市や市の特産品及び政策について各種広報媒体を使い積極的にPRし、約4,000人の方から寄附をいただいた。</p>	<p>・引き続きふるさと納税ポータルサイトや各種広報媒体を活用し、市や市の特産品及び政策について積極的にPRする。また、新たな特産品の開発や掘り起こしを行い、返礼品のラインナップをさらに充実させ、地域産業の振興と市の知名度アップに努める。</p>	<p>・引き続きふるさと納税ポータルサイトや各種広報媒体を活用し、市や市の特産品及び政策について積極的にPRする。また、新たな特産品の開発や掘り起こしを行い、返礼品のラインナップをさらに充実させ、地域産業の振興と市の知名度アップに努める。</p>

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ ふるさと納税ポータルサイトや市公式ホームページ、ふるさと納税関連の雑誌等を活用し、梨やトマト等の市の特産品や市の魅力を積極的にPRした。</p> <p>○ 地域農業振興のため、市内梨農家から返礼品提供事業者を募集した。</p>	<p>○ 寄附に対する返礼品として市の特産品等を活用することで地元農業や地域産業の活性化を図ることができた。</p> <p>○ 特産品の開発や掘り起こしを行い、返礼品のラインナップを充実させ、地域産業の新たな販路の開拓と市の知名度アップに努めた。</p> <p>○ 返礼品提供事業者を募集したところ、新たに6戸の梨農家が加わった。</p>

取組③ 市公式ホームページの充実		企画政策課	
1 取組の概要	市のタイムリーな情報を市内外に発信するため、市公式ホームページの充実を図ります。		
2 取組の成果や目標	市公式ホームページの掲載内容の充実による利用機会の増加を図ることにより、市の魅力や情報の発信力の強化を図ることができます。 【数値目標】 市公式ホームページアクセス数 467,714件 → 560,000件		
3 取組に係る平成28年度事業	・ ホームページ運営事業 1,128千円		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ 市民から公募した写真の掲載等、魅力あるホームページの検討、作成	・ 魅力あるホームページづくりのための、掲載内容の検討、実施	・ 魅力あるホームページづくりのための、掲載内容の検討、実施

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各担当課による市民に向けた市政情報の発信を行った。 ○ 市内の魅力資源を認識できるよう、トップページの画像等を、季節毎の特徴的な風景等に変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民が興味をもって閲覧するよう、市公式ホームページの掲載情報の充実を図ることができた。 ・ 各担当課による即時的なホームページの修正 ・ トップページの画像等の工夫 ・ イベント情報のページの活用の推進

取組④ SNSの活用の検討		企画政策課	
1 取組の概要	白岡市シティプロモーション戦略に基づき、タイムリーな情報等を公式SNSにより発信するものです。		
2 取組の成果や目標	公式SNSにより、本市の魅力を発信することで、市の知名度の向上を図ることができます。		
3 取組に係る平成28年度事業	・ 魅力創造事業 4,071 千円		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	—	・ 市公式SNSの開設の検討・実施	・ 市公式SNSによる市政情報や市民生活情報の発信

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
○ 市の魅力発信のため、市公式ツイッターを10月1日から運用を開始した。（9月1日から試験運用を実施）	○ ツイッターの試験運用で、防犯情報等の発信を行った事で、市民等への迅速な情報発信を行うことができた。また、試験運用の1か月で、300件以上のフォロワーを獲得した。（10月17日現在 500件）

基本施策4-2 市民参画による市民の市への愛着の向上

◆ 市民の愛着の向上

取組① 協働のまちづくりモデル事業の推進		地域振興課	
1 取組の概要	<p>市民と市との協働による先導的な取組を支援することにより、市民の協働についての関心を高めます。</p> <p>これまでの市民提案型モデル事業に加えて、行政テーマ指定型モデル事業を設定し、市民が、自分の住む地域のことを考え、行動を起こす市民協働のさらなる推進を図ります。</p>		
2 取組の成果や目標	<p>市民と市との協働による先導的な取組を支援するとともに、その結果を広く周知することにより、市民の協働についての理解が深まり、関心が高まります。</p> <p>【数値目標】 採択事業数（1年度当たり） 2件 ⇒ 5件</p>		
3 取組に係る平成28年度事業	<p>・ 協働のまちづくりモデル事業 500千円</p>		
4 取組計画	平成27年度（実績）	平成28年度	平成29年度
	・ 協働のまちづくりモデル事業の募集	・ 協働のまちづくりモデル事業の募集	・ 協働のまちづくりモデル事業の募集

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ 協働を担う市民団体にとって、より利用しやすい制度とするため、事業に直接必要となる備品の購入費について、補助の対象となるよう改めた。</p> <p>また、平成28年度から行政指定テーマを設定し、募集を行った。（行政指定テーマ）</p>	<p>○ 平成28年度採択事業（1件）</p> <p>・ 山の憩いの森運営部会による「山の憩いの森公園利用に関する掲示板の設置事業」</p>

取組② 生涯学習事業の推進		生涯学習課	
1 取組の概要	市民が心豊かに充実した社会生活が送れるよう、市民の意向や時代のニーズに応じた多様な学習機会と場の提供を行い、市民の主体的な学習を支援するものです。		
2 取組の成果や目標	「ペアーズアカデミー」では、白岡ならではの各種講座を実施することで、ふるさと意識の醸成に資することができます。また、生涯学習をきっかけとした受講者同士の交流の輪が広がるとともに、市民の生涯学習への認識が高まります。		
3 取組に係る平成 28 年度事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習推進事業 923 千円 ・ ウィークエンドいきいき体験活動事業 674 千円 		
4 取組計画	平成 27 年度（実績）	平成 28 年度	平成 29 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアーズアカデミー ・ 4 講座 14 回 ○学校開放講座 ・ 菁莪小学校、白岡高等学校、白岡東小学校各校 1 講座、3 回実施 ○ウィークエンドいきいき体験活動事業 ・ 田んぼの学校、知ってさわって縄文講座、自然観察会、ひこべえの森冬のつどい ○自然ふれあい体験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアーズアカデミー ・ 4 講座 16 回 ○学校開放講座 ・ 市内小・中・高等学校 開講依頼 ○ウィークエンドいきいき体験活動事業 ・ 田んぼの学校、知ってさわって縄文講座、自然観察会、ひこべえの森冬のつどい ○自然ふれあい体験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアーズアカデミー ・ 4 講座 16 回 ○学校開放講座 ・ 市内小・中・高等学校 開講依頼 ○ウィークエンドいきいき体験活動事業 ・ 田んぼの学校、知ってさわって縄文講座、自然観察会、ひこべえの森冬のつどい ○自然ふれあい体験教室

《平成28年度上半期の取組状況》

取組内容	取組成果（成果数値）
<p>○ペアーズアカデミー「知って得する。安全講座 自分の安全守りましょう！」の開催（4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の安全 ・悪質商法、 ・振り込め詐欺及び防犯 ・マイナンバー制度 <p>○ウィークエンドいきいき体験活動事業の開催（4講座）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの学校 ・自然観察会 ・知ってさわって縄文講座 ・自然ふれあい体験教室 	<p>○ペアーズアカデミー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野で、市民の安心安全に対する意識の啓発を図ることができた。 ・振り込め詐欺やマイナンバーなどタイムリーでニーズの高い講座を埼玉県県政出前講座や埼玉県警察本部の職員を講師に招くことで、講師謝金を抑えて開催することができた。 （講座終了時参加者数：60名） <p>○ウィークエンドいきいき体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの学校では、体験活動を通して、農作物を育てる苦労や工夫、収穫の喜びを親と子で体験し、ふれあい楽しむことで思い出の共有や深い絆を生むことができた。 （9月1日時点参加者数：108名） ・自然観察会では、平日に働いている保護者が参加できるよう休日に事業を実施することで、家族で参加し家族交流の促進を図ることができた。 （8月21日時点参加者数：83名） ・知ってさわって縄文講座では、縄文土器の底部に残されたあじろ編みの痕跡の観察や解説を行い、縄文時代のものづくりに対する理解を深めることができた。 （参加者数：33名） ・自然ふれあい体験教室では、親元を離れて1泊2日で開催し、市内では味わえない自然や歴史などに触れ合える体験学習を行い、年齢の異なる参加者と交流を深めることができた。 （参加者数：31名、ジュニアリーダーなど協力者：6名）